

# 歴史で地域を強くする

ふるさとの先人を まちづくり、人づくり、心そだてに活かす



国内では現在、東京一極集中が再加速し、地方を中心に人口減少、少子高齢化が進んでいます。地域の経済社会の縮小、地域課題に住民、企業らに対応していく地域力の弱体化、さらには、地域に対する愛着、誇り、そして当事者意識の希薄化が懸念されています。

また、世界に目を向ければ、急速かつ大規模に進むグローバル化、情報化や技術革新、マクロ経済の変動、地球規模での環境問題の深刻化等が進む中で、SDGs(持続可能な開発目標)も叫ばれています。

そのような中で、今、地域は、どのような価値観を大切にしながら地域づくりに取り組むべきか。そのために、いかに地域資産を見出し、活用すべきか——。全てのまちの地域活性化に共通する課題となっています。

本シンポジウムは、地域の「歴史」、その資源の1つである「先人」に活性化の手掛かりを求め、その活用による「まちづくり・人づくり・心そだて」についての政策を提言します。

同時に、歴史を活かしたまちづくりに取り組む「嚶鳴（おうめい）協議会」をはじめ、多くの自治体が会し、歴史を活かした持続可能で元気な地域づくりのあり方について活発な議論を交わします。



**日時**  
令和2年  
**2月7日(金)**  
●開場/13:00 ●開会/13:30

**参加費**  
●シンポジウムは、無料。  
●交流・意見交換会は、7,000円(税込)。

**場所**  
**霞山会館** (霞が関コモンゲート西館 37階)  
東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

**申込方法**  
●別紙「シンポジウム参加申込書」に必要事項を記入の上、E-mail、または、FAXでお申込み下さい。

**問合せ先**  
**政策シンクタンク PHP 総研** (担当: 佐々木、寺田)  
●E-mail: oumei-hi@php.co.jp  
●TEL:03-3520-9612 (平日 10時~17時) ●FAX:03-3520-9653  
●HP: https://thinktank.php.co.jp/



## ■PHP総研シンポジウム(令和2年2月7日開催) プログラム

(やむを得ない事情により、内容が変更になる場合があります。予めご了承ください。)

時 間	内 容
13:30~13:35	開会あいさつ 金子将史 (政策シンクタンク P H P 総研代表/研究主幹)
13:35~14:00	<p><b>【提 言】</b>.....</p> <p>『<b>歴史活用による地域活性化戦略</b> ～ふるさとの先人を活かしたまちづくり、人づくり、心そだて～』</p>  <p style="text-align: right;"><b>佐々木陽一</b> ( P H P 総研主任研究員)</p>
14:00~15:15	<p><b>【提案と事例発表】</b>.....</p> <p><b>【1】『心のよりどころを作らずして、元気な地域なし ～嚶鳴協議会が目指すもの』</b></p> <p style="text-align: center;"><b>鈴木淳雄氏</b> (嚶鳴協議会会長、愛知県東海市長)</p> <p>作家・童門冬二氏、東洋大学名誉教授・吉田公平氏の指導と助言のもと、ふるさとの先人を活かした地域づくりに取り組む嚶鳴協議会活動 12 年の成果を総括しつつ、ふるさとの先人を活かした地域づくりの重要性と意義について具体的事例とともに紹介します。</p>  <p><b>【2】『SDGs を活用した先人教育・郷土教育の可能性』</b></p> <p style="text-align: center;"><b>福島健氏</b></p> <p>(佐賀県多久市教育委員会教育振興課文化スポーツ係長)</p> <p>持続可能な社会を目指す国連のSDGs を活用することにより、グローバルで、普遍性を持った郷土教育や人間教育、先人顕彰を実現していくあり方と可能性について提案します。</p>  <p><b>【3】『自分とふるさとを愛する子を育てる地域づくり』</b></p> <p style="text-align: center;"><b>鈴木隆一氏</b></p> <p>(元岐阜県恵那市教育委員長・NPO法人いぬむら一斎塾理事長)</p> <p>佐藤一斎、下田歌子、三好学を生み出した城下町・岩村の先人顕彰活動の歩みを通して、自分とふるさとを愛する子どもを育てる地域づくりへの努力と成果を発表します。</p>  <p><b>【4】『雑誌編集長が見た歴史の活用と情報発信』</b></p> <p style="text-align: center;"><b>大山耕介</b> (月刊誌「歴史街道」編集長)</p> <p>地域に埋もれた歴史や文化の活用と、情報発信の方法について、雑誌編集の立場から見た、課題と可能性を紹介します。</p> 
15:15~15:30	休憩

15:30～17:15

**【パネルディスカッション】**.....

『歴史から未来へ——地域からの提言

**持続可能な地域づくりのために、今、やらなければならないこと』**

人口減少、少子高齢化、相次ぐ災害など、山積する地域課題を乗り越えて、持続可能な地域づくりを実現するために、今、何が必要か？

ふるさとの先人、歴史・文化を通して地域づくりに邁進する自治体市町長を中心に、参加者全員で教え合い、学び合い、探り合います。

◇**パネリスト参加予定市町長**



岐阜県大野町長  
**宇佐美晃三氏**



宮崎県高鍋町長  
**黒木敏之氏**



佐賀県多久市長  
**横尾俊彦氏**

◇**討論参加予定市町長**



岐阜県恵那市長  
**小坂喬峰氏**



兵庫県養父市長  
**広瀬栄氏**



愛知県東海市長  
**鈴木淳雄氏**

◇**コメンテーター**

**童門冬二氏**



作家。嚶鳴協議会名誉会長。東京都広報室長、企画調整局長、政策室長等を歴任した後、退職し、作家活動に専念。『小説上杉鷹山』他著書は 600 冊以上。

**吉田公平氏**



東洋大学名誉教授。中国哲学・日本近世思想史専攻。「陽明学」を中心に西洋思想と比較、今日的な意義を探究。著書に、『陸象山と王陽明』『日本における陽明学』など。

**黒田和秀氏**



同志社大学グローバルスタディーズ研究科客員教授。山梨大学研究推進・社会連携機構客員教授。1982～98、国連人道支援調整員。1998～2015、世界銀行上級業務専門員。

◇**モデレーター**



**寺田昭一**

PHP 総研シニアコンサルタント  
月刊誌「歴史街道」特別編集委員

17:15

閉会

17:30～19:30

交流・意見交換会 参加費 7,000 円 (税込/一人)

## ※ 嚶鳴（おうめい）協議会

ふるさとの先人を地域づくりに活かす自治体が、連携と交流を通して、共に学び、教え、考え、実践することを目的に平成20年（2008）に設立された協議会。毎年加盟自治体交代で開催する「嚶鳴フォーラム」の他、年間を通じて、意見情報交換や交流活動を行なっている。

事務局は、愛知県東海市社会教育課に置かれ、P H P 総研が協力。童門冬二氏（作家）を名誉会長に、吉田公平氏（東洋大学名誉教授）を顧問に迎え、助言と指導をいただいている。

### 【加盟自治体】(令和元年度)

恵那市(岐阜県)、大野町(岐阜県)、沖縄市(沖縄県)、小田原市(神奈川県)、釜石市(岩手県)、木曾町(長野県)、多久市(佐賀県)、竹田市(大分県)、田原市(愛知県)、東海市(愛知県)、長野市(長野県)、日田市(大分県)、養父市(兵庫県)、米沢市(山形県)

**「嚶鳴（おうめい）」とは……**

中国最古の詩集『詩経』の、  
 「木を伐ること丁丁（とうとう）たり、鳥の鳴くこと嚶嚶（おうおう）たり。幽谷（ゆうこく）より出（い）でて喬木（きやうぼく）に遷（うつ）り、嚶（おう）として其（そ）れ鳴くは、真（まこと）の友を求むる声なり」  
 にでてくる言葉で、鳥が仲間を集めて鳴き交うという意味。  
 転じて、仲間を求めて切磋琢磨（せつさたくま）しながら、ともに学び、ともに成長しあう姿を表します。  
 名君・上杉鷹山の師・細井平洲が江戸に開いた塾を「嚶鳴館」と名づけたことでも有名です。

氏名	生誕地	生誕年	主な業績
山村蘇門	木曾町 / 長野県	1742 ~ 1823	●学者・代官
上杉鷹山	米沢市 / 山形県	1751 ~ 1822	●米沢藩九代藩主
大島高任	釜石市 / 岩手県	1826 ~ 1901	●龜山学者・事業家
佐久間象山	長野市 / 長野県	1811 ~ 1864	●思想家・兵学者
二宮尊徳	小田原市 / 神奈川県	1787 ~ 1856	●農政家・思想家
渡辺崋山	田原市 / 愛知県	1793 ~ 1841	●田原藩家老・画家・蘭学者
島マス	沖縄市 / 沖縄県	1900 ~ 1988	●沖縄の社会福祉の母
細井平洲	東海市 / 愛知県	1728 ~ 1801	●儒学者・教育家
池田草庵	養父市 / 兵庫県	1813 ~ 1878	●儒学者・教育家
廣瀬淡窓	日田市 / 大分県	1782 ~ 1856	●儒学者・漢詩人・教育家
志田林三郎	多久市 / 佐賀県	1855 ~ 1892	●物理学者・電気工学者
所郁太郎	大野町 / 岐阜県	1838 ~ 1865	●幕末の志士
佐藤一斎	恵那市 / 岐阜県	1772 ~ 1859	●儒学者
瀧廉太郎	竹田市 / 大分県	1879 ~ 1903	●作曲家

【送信先】 政策シンクタンク PHP 総研

(FAX)03-3520-9653、または(E-mail)oumei-hi@php.co.jp

令和2年2月7日(金)開催

PHP 総研シンポジウム (13:30~17:15)

交流会・意見交換会 (17:30~19:30)

歴史で地域を強くする

ふるさとの先人を まちづくり、人づくり、心そだてに活かす

参加申込書 (1月31日締切。先着順)

※定員 200 名。定員になり次第締め切りますのでお早目にお申込み下さい。

【お申込者】 下欄にお申込者をご記入ください。

申込者	フリガナ 氏名	ご所属:  お役職:
-----	------------	------------------

\* 申込用紙はお一人1枚でお願いします。

ご住所	〒	
Tel / Fax	Tel:	Fax:
E-mail	@	
PHP 総研メルマガ配信	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 登録済

\* ご記入の連絡先等は、政策シンクタンク P H P 総研からの政策情報や催し物のお知らせ等に限って使用させていただきます。

【参加するプログラム】

内容	出欠を「○」でご回答下さい
①シンポジウム (13:30~17:15) *参加費:無料	参加 ・ 不参加
②交流・意見交換会 (17:30~19:30) *参加費:お一人様 ¥7,000(税込。現地支払) *会場:霞山会館 *定員:80名(先着順)	参加 ・ 不参加

\*「交流・意見交換会」の参加費は、当日、現地受付にて、現金でお支払い下さい。

\* 交流会・意見交換会に関するキャンセルポリシー：2月4日(火)12:00以降のキャンセルは、キャンセル料100%となります。ご注意ください。

【交流・意見交換会の領収書】

「交流・意見交換会」の領収書は、「宛名/所属団体名」、「但し書/「PHP 総研シンポジウム交流・意見交換会」、「発行者/㈱PHP 研究所」で発行させていただきます。特にご指定のある場合には、下欄にお知らせ下さい。

<input type="checkbox"/> 日付 <input type="checkbox"/> 宛名 <input type="checkbox"/> 但書 <input type="checkbox"/> その他	
---	--